

超-1/2011 Championship Chokowa 6th

30秒で理解する超-1

超-1/2011 公式サイト



一言で言えば、超-1は実話怪談の発表（コンペ）と強化合宿（トレーニング）の場です。
多数応募できるようになった人は、会期終了までに確実に成長します。

●超-1とは何をすればいいのか

難しい話を端折ると、以下の通り。

体験談を聞く（取材）



実話怪談を書く（執筆）



応募する（投稿）



エントリー blog に公開された実話怪談（応募作品）を読む（耽読）



公開された実話怪談それぞれに点数を付け、感想文を書く（自分のも他人のも）（講評）



(1)～(5)を会期終了まで繰り返し（永劫）



結果発表を待つ（我慢）

結果発表後、優秀作を集めて傑作選を刊行。応募された人気作は傑作選に収録され、印税が支払われる。

●審査員に求められることは何か

エントリー blog に公開された実話怪談を読む（耽読）



公開された実話怪談それぞれに点数を付け、感想文を書く（講評）

審査員に人気があった作品が、傑作選に収録されることになる。

いわば、審査員のバーチャルなおひねりを竹書房が代行して印税払いする、ということ。

気に入った作品を推していただきたい。

●審査されるとどうなるのか

・人気のある作品をたくさん書いた応募者は、得点の集計結果に応じてランキングされる

・人気のある作品は、傑作選に掲載され印税が支払われる

・傑作選への掲載数が多かった応募者、実行委員会及び協賛社から注目された著者は、恐怖箱著者として正式に新作原稿依頼がある

・恐怖箱著者の中から、関連各書への共著者及び、単著執筆著者が選ばれる

その他、細かい質問は、以下の解説か @cho_1 へどうぞ。 http://twitter.com/cho_1

▼応募手順を読む <http://www.kyofubako.com/cho-1/2011/ouboguide.htm>

▼逆引きで超-1について質問（FAQ） <http://www.kyofubako.com/cho-1/2011/faq2011.htm>

▼応募者のためのヒント <http://www.kyofubako.com/cho-1/2011/hint2011.htm>

▼今すぐ応募する <http://www.kyofubako.com/cho-1/cont/>



今すぐ応募→

超-1、やります。

募集要項

「超」怖い話の新共著者選抜のために始まった、実話怪談著者コンテスト超-1。

著者名を伏せて公開された公募作品に、ライバルたる応募者と一般審査員による容赦ない講評が襲いかかる。

その辛辣過酷な講評に耐えて着々と作品数を重ねることができた応募者達は、見違えるほどに進化していく。まさに、「怪談書きを無理矢理成長させてしまうシステム」として機能した。

「超」怖い話を書ける筆力と、怪異の水脈を見つける取材力、怪異に引き寄せられるツキと宿命を帯びた著者を見つけるという目的を持った2006年大会は、久田樹生・松村進吉という二人の才能を探り当て、彼らは実際に「超」怖い話新著者として活動を始め、それぞれ「超」怖い話 怪歴、「超」怖い話 怪記を始めとする単著刊行を実現した。

また、同じ2006年大会から抜擢された雨宮淳司は、一年がかりのプロジェクトを経て恐怖箱 怪医を端緒とする病院怪談の雄となった。2007年大会の上位だった深澤夜・原田空・つくね乱蔵は恐怖箱 蛇苺を、鳥飼誠・藪蔵人・矢内倫吾は恐怖箱 老鴉瓜をそれぞれ上梓。2008年大会で見いだされた高田公太・怪間亭・つきしる眠は、それぞれ恐怖箱 蟻地獄、恐怖箱 赤蜻蛉に参加。

2006年大会上位者・藪蔵人が渡部正和として、2010年冬から新たな「超」怖い話共著者となった。

2009年大会で見出された寺川智人・橘百花・山際みさきは、それぞれ恐怖箱 蝙蝠、恐怖箱 精霊舟に参加。

超-1は、実話怪談著者にとっての巣穴であり胎である。そういう役目を得た。

実話怪談を読みたい人の飢えを満たし、書き残したいと望む人にステージを供する。

そして、実話怪談を世に残したいと願う全ての人に道を拓くため、超-1は今年も闇の季節を迎える。

今、あなたには語るべき「超」怖い話はあるか？

恐怖箱にしまい込むべき忌み話はあるか？

一人でも多くの実話怪談を世に送るため、超-1は手段を選ばない。

覚悟は決めたか？ よろしい。

さあ、始めようじゃないか。

1. 体験者が実在する**実話怪談**を募集する。
2. 一篇は **6000byte** 前後を基準とする。上限を **10000byte** 以下とし、下限は設定しない。
3. 応募話数は、**最低一話以上**。上限はない。
4. 応募総数によって**自動的にクラス分け**される。
5. **応募資格**はプロアマを問わない。
6. 応募は **Web上から**のみとし、郵便は受け付けない。
7. 応募作品はエントリー blog にて**著者名を伏せて公開**される。
8. 全応募者は、全応募作に対する公開審査の一環として**相互講評**を行う義務を負う。
9. 応募者以外の**一般審査員**も公開審査に自由に参加できる。(一般審査員は全作講評の義務はない)
10. 期間終了後、審査結果に基づき **2011年度超-1** ランキングを発表する。
11. 推挙意見多数の秀作は、竹書房文庫より刊行される**傑作選 恐怖箱 超-1 怪コレクション・シリーズ**(以後、「怪コレ」と呼称)本年度巻に収載する。
12. 同じく怪コレ収録者には、怪コレの**印税報酬**が支払われる。
13. また、特に推挙意見の多かった応募者、主催者・編集部推挙の応募者については、**恐怖箱、「超」怖い話への参入、及び「超」怖い話に連なる単著刊行を積極支援**する。
14. 応募された**作品の著作権**は著者に帰属する。
15. 応募受付開始は2011年2月1日0:00から。
16. 作品締切は、**2011年3月31日(木) 24:00** 到着分まで。
17. 講評締切は、**2011年4月30日(土) 24:00** まで。
18. 講評締切後の集計経過報告は公式ページ上で逐次行われる。最終結果は公式ページ及び夏~秋の恐怖箱誌上にて同時発表される。

実話怪談作家、募集中。
心と体の強い人、求む。

超-1/2011
Championship Chokowa 6th